



ひかり保育園

R7.3



3月になり今年度もあと1ヶ月となりました。保護者のみなさまにはいつもご理解とご協力をいただき感謝しています。今年度も保育活動をたくさん支えていただきありがとうございました。年長たいようぐみは保育園生活を終え、いよいよ小学生になります。子どもたちは楽しみと少しの不安を感じていることでしょうか。そして保護者の方々も小さかった時から今までのことを振り返り、感慨深く思っている方が多いのではないのでしょうか。今年度、子どもたちが今のクラスで過ごす日々は残り1ヶ月となりました。毎日を元気に楽しく、そして丁寧に過ごしていきたいと思えます。



3月の予定

- 3日 (月) ひなまつり会・誕生会
- 4日 (火) 年長お別れ会
- 5日 (水) 英語
- 6日 (木) ~7日 (金)
絵本貸出日 (つき・にじ)
- 7日 (金) 年長思い出会(たいようぐみ親子)
- 10日 (月) お弁当の日
健康診断 (12:30~)
身体測定の日
- 11日 (火) こどもケア
- 12日 (水) 剣道
- 13日 (木) ~14日 (金)
絵本貸出日 (ほし・しずく)
- 14日 (木) ホワイトデイクッキング
(たいよう・つき・ほし男の子)
- 17日 (金) 集金日
ひかりクリーンデー
- 19日 (水) 卒園式リハーサル
- 21日 (金) お祝い献立 (たいよう)
- 22日 (土) 卒園式
- 25日 (火) 避難訓練
- 27日 (木) 修了式
- 28日 (金) 休園 (新年度職員会・準備)
- 31日 (月) 新年度準備希望保育
(希望者はお弁当持参)



【健康診断について】

『健康診断個人票』をお渡しします。ご記入のうえ、7日(金)までに持ってきてください。健診結果は、園医さんに記入してもらった後にお渡しします。保護者さんの氏名と確認サインまたは印をして持ってきてください。受診の必要のある方は、各自かかりつけ医さんまたは園医さんを受診してください。また、当日お休みされた方は後日園医さんのところに個人で受診してください。

【お知らせとお願い】

○22日(土)は卒園式です。
前日の21日(金)は準備をしますので、可能な方はおやつ後の早迎えのご協力をお願いします。(延長保育はありません。)
また、卒園式にはたいようぐみとつきぐみ(在園児の代表として卒園児のお見送りをします)が参加します。
※土曜保育はありません。

○27日の修了式の日には布団や園にある荷物を全て持ち帰ってください。新年度にはサイズや名前の点検して持ってきてください。
なお、31日(月)の保育を希望しておられる方は、通常の準備とお弁当(ほし・つきは水筒も)と布団も持ってきてください。

【修了式(園児のみ)について】

今のクラスで過ごす時間も残りわずかになりました。修了式では、子どもたち全員に、体も心元気に大きく成長した一年を終えた証に証書を渡します。

『21世紀の証拠に基づく「子ども育て」の本』より

～応答を理解し、言葉も手に入れる：赤ちゃんが泣く理由～

生まれたばかりの赤ちゃんはまだ言葉を持ちません。言葉はコミュニケーションの道具以前に、自分の脳、自分の体の「#~!_\$*」を自分でつかむ道具ですから、まだ言葉を持たない赤ちゃんは、おなかがへっても、頭が痛くても、寒くても暑くても(=どれもストレス、生理的な不快)、それが何なのかすらわからないのです。だから体をもぞもぞと動かし、むずがり、声を出します。おとなが気づかなければ、やがて泣きます。これがコミュニケーションの「発信」の原型です。人間の赤ちゃんの泣き声を聞くと、子育て経験のないおとなでも、脳の、それも生存にかかわる古い部位に特徴的な反応が起こり、居ても立ってもいられない状態になります。赤ちゃんのケアをしている大人もそう感じ、「どうしたの?おなかがすいたのかな?ウンチかな?」と声をかけ、そっと抱き上げます。この言葉と行動すべてがコミュニケーションにおける「応答」です。

おなかがへったのか、ウンチなのか、頭が痛いのか...、赤ちゃんに優しく話しかけながら大人がケアをしている間に、その時の「#~!_\$*」に当たると赤ちゃんはむずがるのをやめ、安心した顔になるでしょう。表情の変化を見て、「ああ、やっぱりおなかがへっていたんだ!ミルク、いっぱい飲んだね。おなかいっぱい!」とおとなが言うと、赤ちゃんの脳の中には「#~!_\$*」という感覚に加えて、その感覚(ストレス)が消えた感覚も加わり、「おなかがへった」「ミルク」「おなかいっぱい」などの言葉も入ってきます。「#~!_\$*」は次第に、「おなか」「ミルク」「いっぱい」などの言葉、感覚につながり、赤ちゃんは「#~!_\$*」といった自分の感覚を言葉でつかみ始めます。

赤ちゃんは泣くことによって〇〇して欲しいと訴えているのです。それがわからなくて親は右往左往。でも赤ちゃんの欲求が満たされると心地よい顔になる。なんとかわいい、なんと愛おしい顔なんでしょう。親の方も笑顔で満たされます。赤ちゃんの言葉や脳の発達にはゆったりとやさしい声をたくさんかけてあげることが大切なんですね。これはきっと大きくなった子どもたちにも共通することだと思います。

家庭の中でたくさんコミュニケーション、そしてプラスの声かけを!心がけたいですね。

(園長 筆)

【4月の予定について】

- 4月1日(火) 新年度はじまり
お集りの会 ※通常保育です。
- 4月19日(土) 保護者会総会
担任紹介
講演会(講師:伊藤成二氏)
※「子どもたちのよりよい15歳の春」をめざして活動しておられる先生です。

